

SS 探究ⅡC

課題発見セミナー

12月1日（金）、山口大学 大学研究推進機構 知的財産センターの 陣内 秀樹 先生をお招きし、2年家政科を対象に「課題発見セミナー」を開催しました。

セミナーは、3年次に生徒達が取り組む課題研究テーマのヒントや研究の手法、発見、知的財産についての概念や活用の方法等を目的として、講義と演習に取り組みました。

講義では、自然物以外の人工物は、そのほとんどが知的財産（知財）であり、技術など形ではないものにも価値があるという説明から始まりました。「天ぷら」をあげる動画で、生徒に「泡」の正体が水（水蒸気）であることや、油で揚げるのが、「水分を取り除く＝乾燥」のヒントになり、「即席麺」の開発に繋がったことなど、身近な現象が新製品や新技術の開発のカギになったことの話から、知的財産を生み出すためには、日頃の心構えが大事であり、「気がつく」ためには、その意識が大切であることの説明がありました。また、照明器具について、現在の「LED」から過去に遡ると「蝋燭」までの技術革新がありますが、明るさや耐久性・コストなどは、現在の製品には及びませんが、雰囲気など視点を変えれば、「冷たい？LED」よりも「暖かい？蝋燭」など、場合によっては価値が高まる可能性の示唆もありました。そして、他校の開発例から、「私たちも！」と思う生徒達もいたようです。セミナー後のアンケートでは、ほとんどが座学であったにも拘わらず評価が高く、今後の課題研究に繋がるものであったと感じるセミナーでした。陣内先生、ありがとうございました。

